

代表者会議【当日資料２－４】

茅ヶ崎市自立支援協議会 報告書

件 名	令和６年度第３回事業所間交流・情報発信部会報告書
日 時	令和７年１月２４日（金） １０時００分～１２時００分
場 所	茅ヶ崎市役所分庁舎５階 Ａ会議室
事 務 局	生活相談室とれいん
出 席 者	<p> <input type="checkbox"/>増藤 純（当事者） <input checked="" type="checkbox"/>山田 絵美（当事者） <input type="checkbox"/>川邊 洋平（茅ヶ崎市障害者施設連絡会） <input type="checkbox"/>押上 江里奈（茅ヶ崎市・寒川町居宅介護事業所連絡会） <input type="checkbox"/>作間 晴夫（茅ヶ崎市地域作業所連絡会） <input type="checkbox"/>伊藤 久美（茅ヶ崎・寒川ホーム連絡会） <input checked="" type="checkbox"/>小木曾 清美（茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会） <input checked="" type="checkbox"/>岸 丈志（茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会） <input checked="" type="checkbox"/>角田 三千代（茅ヶ崎市障害者団体連絡会） <input checked="" type="checkbox"/>松下 亜弥子（茅ヶ崎市障害者団体連絡会） <input checked="" type="checkbox"/>棚橋 利恵（茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会） <input checked="" type="checkbox"/>尾辻 涼（茅ヶ崎市障がい福祉課） <input checked="" type="checkbox"/>齋藤 歩（オブザーバー） <input checked="" type="checkbox"/>安田のり子、榎園 貴子（事務局：生活相談室とれいん） <input checked="" type="checkbox"/>出席 <input type="checkbox"/>欠席 </p>
議題・検討内容	<p>１．開会 部会長 あいさつ</p> <p>２．事業所大交流会について （１）振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、実施概要報告、アンケート結果の概要報告 ・仕事を離れたテーマでの話し合いが良かった。 ・オープンな感じで風通し良く感じた。 ・もう少し多く参加されると良かった。休憩時間を長めにしたので、休憩トークが出来て良かった。 ・案内の段階でもう少し内容が分かると参加しやすいのでは、と思った。 ・アンケートでも顔を合せて話し合えたのが良かった、という意見が多く、今後の開催も期待されている内容が多かった。 <p>⇒次につながっていく方向で次回を検討したい。</p>

代表者会議【当日資料２－４】

(2) アンケート結果を踏まえ、今後の交流会について

①実施について

- ・部会員の意見、アンケートの結果から、今後も実施継続する方向性を確認した。
- ・実施時期は年末だと関係ができてその後が繋がらない（年度で異動などあるとつながりが切れてしまうなど）ので、時期を早めての実施が望ましいと確認した。

②実施回数・時間帯について

- ・アンケート結果からは、次回の開催の希望のほか、小規模で回数を増やすことで参加しやすいのでは、という意見もあった。少人数になると参加しやすいが、横のつながりとしては弱いかもしれない。
- ・放課後等デイサービスのスタッフは午前中の方が参加しやすい、またグループホームのスタッフも夕方は参加が難しいのではないかと。
- ・開催を２回にして時間帯を変える（午前開催、午後開催）とするか、または１日（午前～夕方）通して開催し、どの時間でも参加できるような開催を工夫することも一案では。
- ・１日通して開催できるのであれば、昼ごろは各事業所の食品の試食や物販ができると他の事業所の活動内容を知ることができるのでは。
⇒１日通してオープンし参加できる時間に参加できるような形式の提案もあり、来年度の開催に向け茅ヶ崎市や他の意見も確認することとした。

③内容について

- ・学校関係の方の参加を検討してほしい、災害や非常時についての情報交換をしたい、事業所紹介があると良い（アンケートより）
- ・各事業所の製品の販売についても話し合ったり工夫できるとよい。市のふれあい作品展と同じ時期に開催するなどの工夫も良いのでは。
⇒②の実施の方法（２回開催にするか、１日通しての開催にするか）によっても違うため次年度再検討とした。

3. 当事者交流会について

(1) 当日のテーマについて

- ・先輩母の話を聞きたい。子どもの状況に合わせて、どうしてきたか、など。
- ・県立茅ヶ崎支援学校でもPTAでは参加者が少ない、当事者団体の参加も少ない状況。役員などになることを避けているのかもしれない。親も仕事をされていて忙しいので会などに入るのは抵抗がある様子。
- ・年金についての研修を開催したら、若い世代の参加があり会員の申込もあった。

代表者会議【当日資料２－４】

	<ul style="list-style-type: none"> ・まず参加してみる、という気持ちになれるような、楽しい雰囲気になるような土壌づくりが必要。重苦しくない、何かまた話したいと思ってもらえるような会にできると良い。 ・グループホームの体験談や、卒業に向けての体験（進路選び）などがあると聞いてみたい、と思ってもらえるのでは。 <p>⇒体験談を話してもらえるご家族に参加を打診することとした。</p> <p>（２）進め方について</p> <p>司会：増藤副部長に打診する</p> <p>資料・広報：（１）のテーマを考え若い世代のご家族に広報できるよう広報先を選考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスは、利用している家族の交流を図る場を用意するよう、求められている。放課後等デイサービスの利用者ご家族に広報したい。 <p>体験談を話してもらえるご家族が可能な日程を設定する必要があるため日程の決定、広報については今後部長と事務局で整理し、決定次第部会員に伝え、広報を進めることとした。</p>
当日資料	<p>【資料】</p> <p>資料１ 部会員の名簿</p> <p>資料２ 事業所間交流・情報発信部会 活動予定表</p> <p>資料３ 事業所間交流会 報告書・アンケート結果</p> <p>資料４ 当事者意見交換会 計画書 案</p>